

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福津市	代表者名	原崎 智仁
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0940-43-8197
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	811-3217 福岡県福津市中央		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実施したい事業の内容について、よく聞いていただき、写真のご提供もいただいた。当方が希望しているとおりの講演会とワーキングになりそうと感じた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月29日	9時19分	17時00分	60	401
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅		オンライン
	所在地	オンライン			
	最寄駅からの交通手段	場合によっては、こちらから出向きます。			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	財政調整課情報管理係	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	当初は毎月行われる介護系ワーキングで、地域情報化の必要性などをご講演をさせていただき予定であったが、当該会議の実行委員の理解を得られず、単独の講演会とすることにした。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市内の多くの高齢者を含む市民が情報化についての関心を持ち、実践することにより地域情報化が浸透する。これにより、持続可能な開発目標(SDGs)のだれ一人取り残さないことの方法の一つの基盤にする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講師の深い知識により、市民が興味を持ち、実践するようにする。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講師と日程調整、内容の調整を行い、既存の団体にとらわれず講演を行うことで幅広い市民が情報に触れることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた 計画書=チラシ
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は市との打ち合わせであったので、チラシを作成した。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	多くの市民が地域情報化の情報に触れ、地域コミュニティのより深い実践を進めるためICT技術を活用する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。